

令和元年度 伴走型小規模事業者支援推進事業検討会 議事録

1. 開催日時 令和元年6月6日(木) 13時30分～14時22分
2. 開催場所 当別町商工会館 1階 応接室
3. 出席者 安藤委員・松岡委員・松浦委員・森委員・星委員
事務局：竹原事務局長・熊谷経営指導員・菅原経営指導員
4. 経過
定刻となり、事務局が開会を宣し、安藤委員長より挨拶その後、議事に入る。
5. 議題

(1) 平成30年度 伴走型小規模事業者支援推進事業実績報告について このことについて、事務局より資料1に基づき説明する。

①地域経済動向の調査に関すること

取組内容：3金融機関、当別町、商工会による金融懇談会及び創業支援等に
係る連絡会議を開催する。

目標：1回 実績：1回

検証結果：最新情報を共有し各々の取り組み内容が把握でき、これらの情報を
各事業者へ提供できた。

②経営状況の分析に関すること

取組内容：専門家の派遣を実施する。(専門的知識を要する案件含む)

目標：15件 実績：78件

検証結果：内訳としては、ネットde記帳による経営分析14件、確定申告
による税務指導44件、持続化補助金に係る事業計画策定12件
専門的知識を要する相談等8件を実施した。

これらの実施により、各店の経営基盤の強化並びに経営の安定化
が図れた。

③事業計画策定支援に関すること

取組内容1：事業計画の策定支援

目標：15件 実績：12件

検証結果：持続化補助金申請による事業計画策定支援を実施した。

12件中7件の採択を受けた。

これらの補助金の申請書は事業計画や経営計画など数枚程度の
記載で済み、取り組みやすいこともあり各々が貴店のビジョン
に沿った事業計画や経営計画づくりができた。

取組内容2：巡回訪問によるフォローアップ

目標：50件 実績：50件

検証結果：日々の巡回訪問による実績を踏まえ、補助金申請による事業計画の策定や金融や税務面に於いてフォローアップを実施した。
また、各事業者とはコミュニケーションが図れ、些細なことでも相談されることが増えた。

④事業計画策定後の支援に関すること

取組内容1：創業塾開催による創業支援

目標：1件 実績：1件

検証結果：今回3回目となる「当別創業塾」を実施した。女性へのアプローチに趣きを置き周知した結果、17名中8名が女性による参加であり、参加者からは大変好評を得た。また、これら参加者のうち3名が創業に至っており、これらアフターフォローをしっかりと実施していきたい。

取組内容2：創業後の提案型・伴走型支援の実施

目標：4件 実績：3件

検証結果：5年以内の創業者に対し、税務・金融といった基礎的な支援に加え、専門的な相談業務にも積極的に取り組み、全面的にバックアップを図り経営の安定に繋げた。

⑤需要動向調査に関すること

取組内容：過去のデータでの消費者の需要を把握 他

目標：10件 実績15件

検証結果：過去に実施してきたプレミアム商品券、商工会発行の商品券等やサマーセール、道の駅クーポン券の消費動向について、巡回訪問時のツールとして活用する。各事業者への情報提供として、サービスや売上の向上など提案型支援に繋げた。

⑥新たな需要の開拓に資する支援に関すること

取組内容1：当会主催の展示会・商談会の開催

目標：1件 実績：1件

検証結果：当会主催の商談展示会を実施し、各事業者の販路開拓、販路拡大を目指す。参加事業者は減ったものの、今回で6回目の開催となり、各々商談件数も年々増回傾向にある。課題としては、新規事業者を取り入れたい。

取組内容2：各機関主催の展示会・商談会への参加

目標：2件 実績：2件

検証結果：各事業者が販路開拓、販路拡大を図るため、大都市圏で開催する各機関主催による商談会・展示会へ参加する。全2回（札幌・大阪）2事業者が出展した。結果としては、その場での商談には至らないが、数多くの名刺交換や後日サンプルの提供等、成約に向けた確実な一歩を踏み出している。

◎委員からの意見

星 委 員・・・事業計画策定セミナーの開催が0回であるが、創業塾等を開催しており実績としてカウントしても良いと思う。

事 務 局・・・1回の実績として捉えたい。

森 委 員・・・行政の方から、昨年「創業塾」に関し、女性へのアプローチを取り入れてほしいとの要望をした経緯があるが、8名の参加があり且つ、創業にも至っていることは大変有益なことだと思うので引き続き、取り組んでいただきたい。

事 務 局・・・商談会出展にあたっての質問（星委員へ）

何年も同じ事業者が参加することがあるが、事務局としては手を挙げている事業者を無視するわけにはいかず支援したく思う。

星 委 員・・・積極的に手を挙げる事業者（真剣に考えている）がいるのであれば、そちらを優先すべきと考える。参加した事業者が他の事業者に情報提供し、他の事業者が出展するような展開が理想である。

足寄町商工会は、支援したところの事例をまとめた事例集を作成し、会員へ配布している。

(2) 令和元度 伴走型小規模事業者支援推進事業計画について

このことについて、事務局より資料2に基づき説明する。

星 委 員・・・他町村の取り組み事例が述べられる。（清水町・あさひかわ）商談会に参加するのであれば、チラシ、パンフレットなどこちらの経費で見られる旨伝えられた。

松岡委員・・・ナイトパークには活用できないか？

安藤委員・・・道の駅を絡めた事業はできないか？

事 務 局・・・町の補助金を頂いているので併用はできないが、単独事業であれば可能である。

事務局・・・専門家派遣事業あたって質問（星委員）

これら専門家派遣事業に30～40万予算しているが、1つの事業所に特化した支援を実施し、再生を図る、或いは経営基盤の強化を図るといった、専門家の活用も可能か？（以前、理事会でいただいた意見）

星委員・・・全く問題は無い。その様な事業者が2件あればそれら2件分を計上しても何ら問題ない。

また、何名かの専門家チーム（診断士・デザイナー他）として実施していくのも良いかと思う。

（3）その他

- ・事務局より、経営発達支援計画の5ヵ年が今年度で期限を迎え、再認定を目指し作成していかなければならない。公募期間も11月1日から11月8日までの1週間となっている。

（星委員）

5月にこれらのガイドラインが出ており、当別町商工会は第1回目の早い段階で認定を受けており、以前の申請書からは大きく内容も変わっているので、何かと大変だと思うが、今までの実績と検証を踏まえ、また、検討会での意見を組み込み作成していくことが望まれる。

以 上

終了時刻：14時22分